

## 2024年度 第1四半期 決算

I. 2024年度 第1四半期 決算概要

II. 2024年度 通期 業績予想

III. 補足資料

シャープ株式会社

2024年8月9日

- 本日はご多忙な中、ご参加頂きありがとうございます。  
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、  
まことにありがとうございます。
- それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

## 連結業績概要

- ・ブランド事業は、総じて好調に推移、全セグメントで売上が伸長し、2桁の増収となる。  
営業利益についても、円安によるマイナス影響があるなか、20%を超える増益を確保。  
アセットライト化を進めているデバイス事業は、減収となったものの、営業利益は前年同期並みの赤字幅にとどまる。  
全社トータルでは、売上高がやや減少、営業赤字が縮小。
- ・経常利益・最終利益は、営業外の為替差損益の変動などが影響し、前年同期を下回る。
- ・通期の業績予想は、業績が想定通り進捗していることから、据え置く。

**SHARP**

1

- ・最初は、連結業績の概要になります。
- ・ブランド事業は、総じて好調に推移し、全セグメントで売上が伸長、2桁の増収となりました。  
営業利益についても、円安によるマイナス影響があるなか、20%を超える増益を確保しております。  
一方、アセットライト化を進めているデバイス事業では、売上が減少したものの、営業利益は前年同期並みの赤字幅にとどまりました。  
その結果、全社トータルでは、売上高はやや減少し、営業赤字は縮小しています。
- ・経常利益・最終利益については、営業外の為替差損益の変動が大きかったことなどから、前年同期を下回りました。
- ・通期の業績予想については、ここまで、業績が、ほぼ想定通り進捗していることから、据え置いております。

# I . 2024年度 第1四半期 決算概要

- ・ まず、2024年度 第1四半期の実績について、ご説明させていただきます。

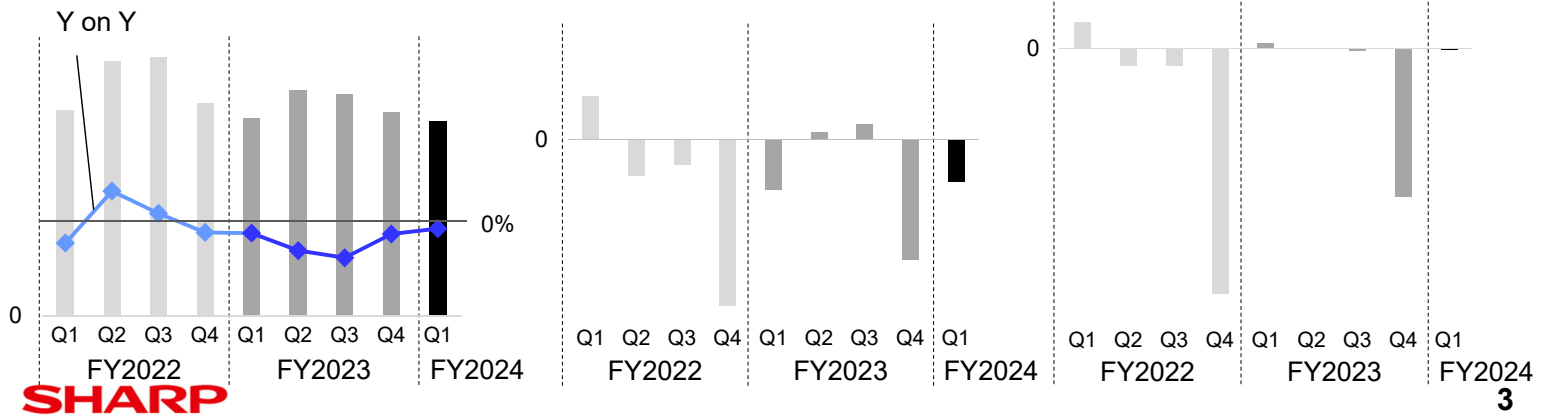
# 2024年度 第1四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	-1.7%
営業利益	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	-
経常利益	-0.5 (-0.1%)	3.5 (0.6%)	3.5 (0.6%)	-13.6 (-2.5%)	-10.1 (-1.9%)	-
最終利益	5.5 (1.0%)	-0.5 (-0.1%)	-2.9 (-0.5%)	-152.0 (-27.3%)	-1.2 (-0.2%)	-
平均為替レート						
ドル円	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89	
ユーロ円	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88	

売上高

営業利益

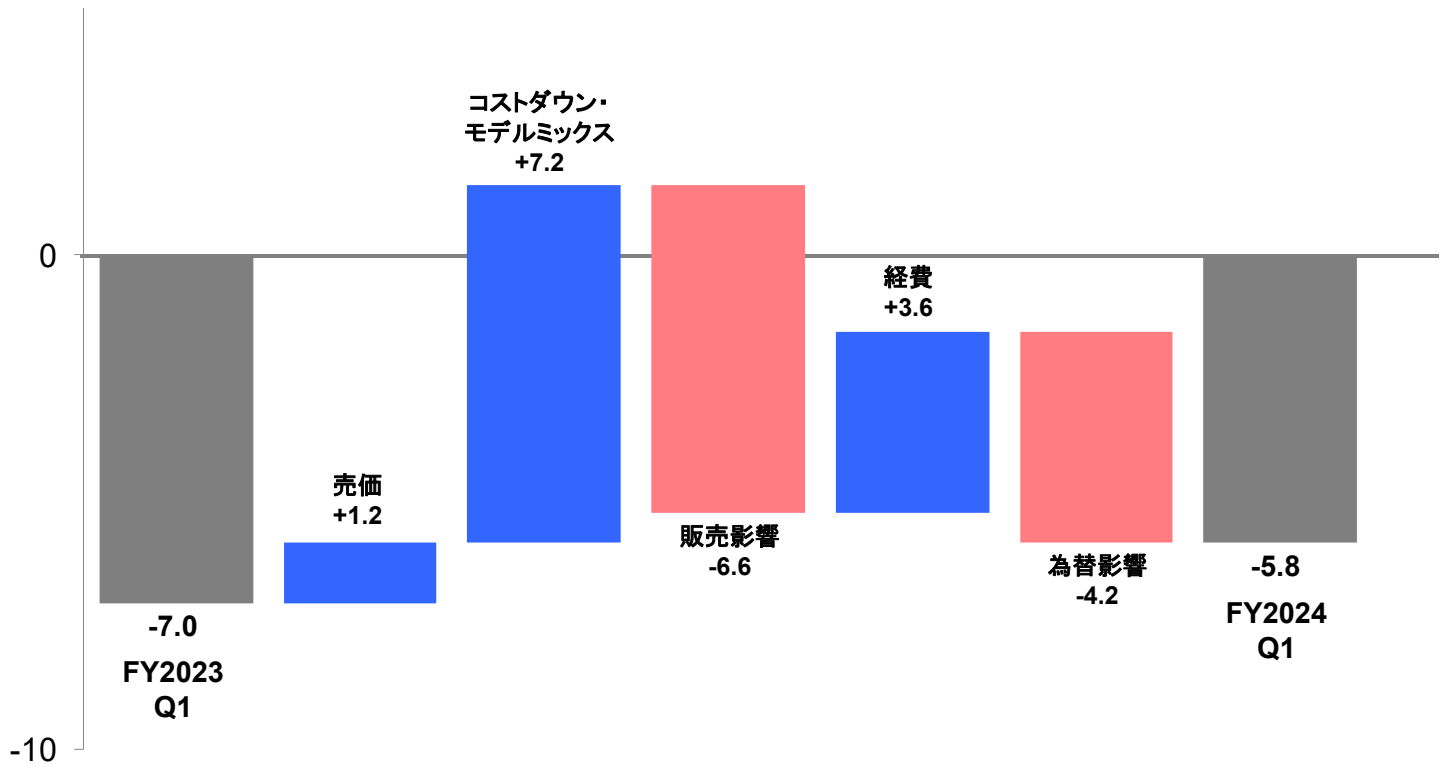
最終利益



- ・ 次のスライドをご覧ください。第1四半期の業績です。
- ・ 売上高は、5,319億円となりました。
- ・ 利益につきましては、  
営業利益は 58億円の赤字、  
経常利益は 101億円の赤字、  
最終利益は 12億円の赤字となっております。

# 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)  
(単位:十億円)



**SHARP**

4

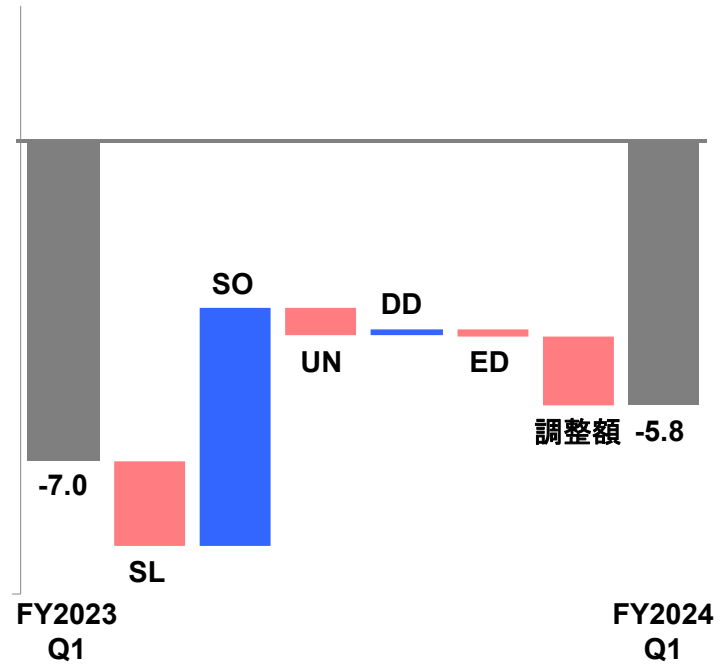
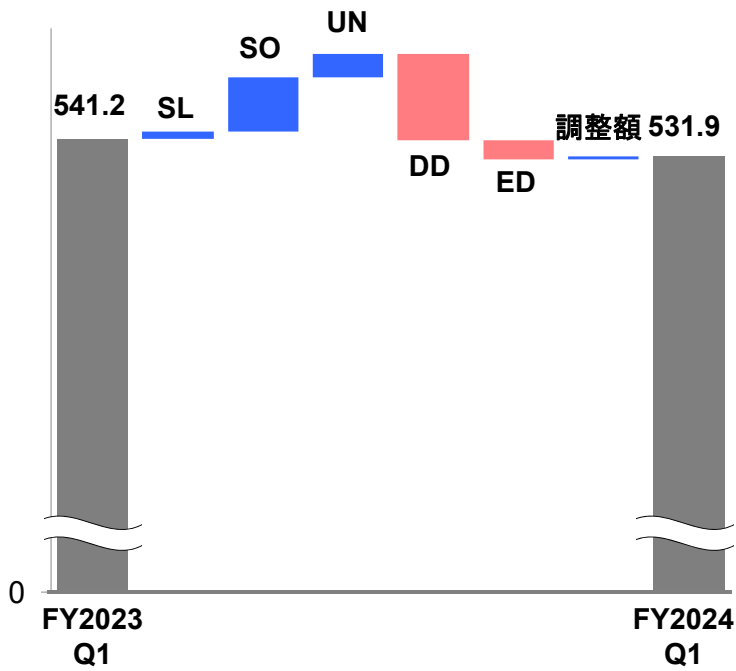
- ・ 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

# セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)



**SHARP**

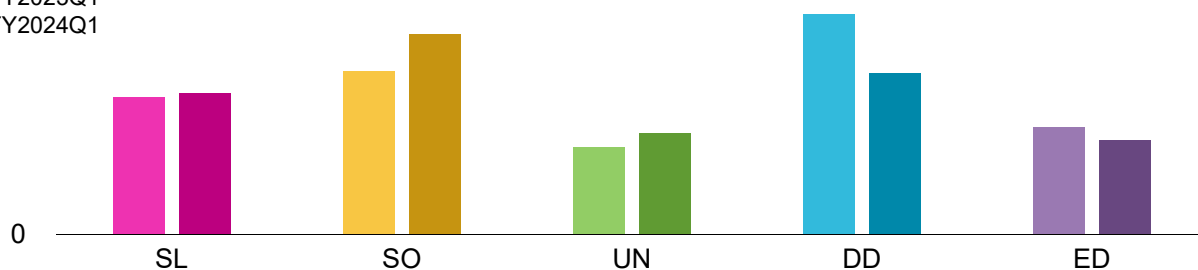
5

- ・ 次のスライドをご覧ください。  
売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめています。
- ・ 売上高は、ブランド事業の3セグメントが増収となり、  
営業利益は、スマートオフィスが大幅な増益となっております。

# セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
スマートライフ&エナジー	106.6	116.6	106.6	111.3	109.9	+3.0%
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	+22.9%
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	+19.5%
ブランド事業	299.0	341.8	349.5	344.7	344.1	+15.1%
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	-26.9%
エレクトロニックデバイス	83.2	108.1	140.8	84.7	73.3	-11.9%
デバイス事業	254.5	287.5	267.1	222.6	198.6	-22.0%
小計	553.6	629.4	616.6	567.4	542.7	-2.0%
調整額	-12.3	-12.4	-10.2	-10.2	-10.8	-
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	-1.7%

左棒：FY2023Q1  
右棒：FY2024Q1



**SHARP**

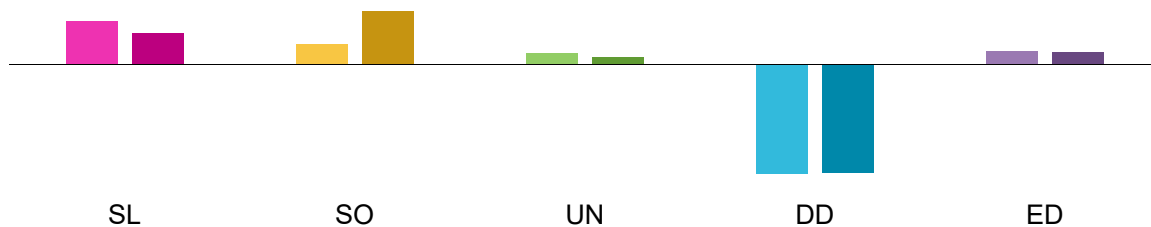
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

6

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は、前年同期比 15.1%増の 3,441億円となりました。  
スマートオフィスとユニバーサルネットワークが大きく伸長しており、ブランド事業全体でも2桁の増収となっております。
- 一方、デバイス事業は、22.0%減の 1,986億円となりました。

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
スマートライフ&エナジー	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	5.2 (5.0%)	7.8 (7.0%)	5.0 (4.6%)	-27.2%
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	+168.1%
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	-35.1%
ブランド事業	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)	18.9 (5.4%)	19.7 (5.7%)	14.5 (4.2%)	+23.6%
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-
エレクトロニックデバイス	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	7.6 (5.4%)	1.2 (1.5%)	1.9 (2.6%)	-7.9%
デバイス事業	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)	-12.1 (-4.5%)	-32.5 (-14.6%)	-15.2 (-7.7%)	-
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)	-
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1	-
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	-



左棒 : FY2023Q1  
右棒 : FY2024Q1

**SHARP**

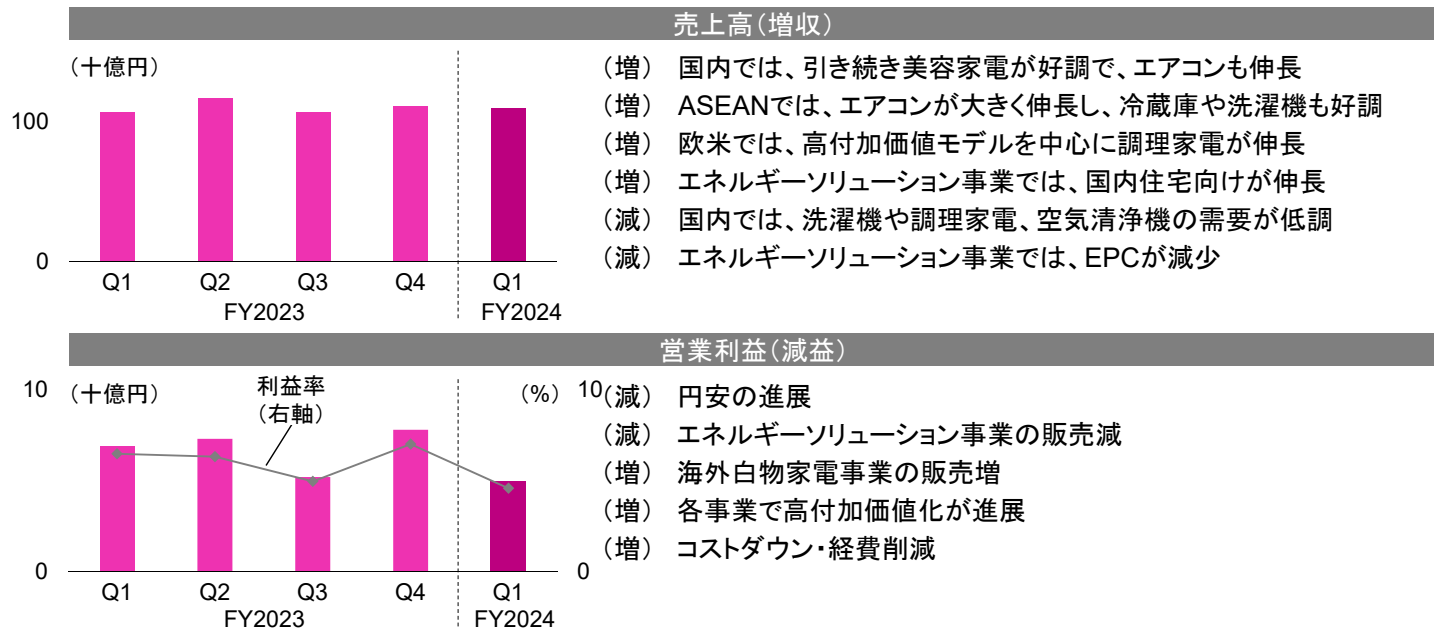
※()内の数字は営業利益率です。

7

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、スマートオフィスが大幅な増益となったことから、前年同期比 23.6%増の 145億円となりました。  
また、円安の影響が大きかったスマートライフ&エナジーやユニバーサルネットワークは、安定して利益を計上しております。
- 一方、デバイス事業は、ほぼ前年同期並みの、152億円の赤字となっております。



(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	106.6	116.6	106.6	111.3	109.9	+3.0%
営業利益	6.9	7.3	5.2	7.8	5.0	-27.2%
(利益率)	(6.5%)	(6.3%)	(5.0%)	(7.0%)	(4.6%)	



・ 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。

・ 売上高は、エネルギーソリューション事業が減収、白物家電事業が増収となり、前年同期比 3.0%増の 1,099億円となりました。

白物家電事業では、国内が減収、海外が増収となっています。

国内では、引き続き美容家電が好調で、エアコンも伸長しましたが、需要が低調だった洗濯機などが前年同期に及びませんでした。

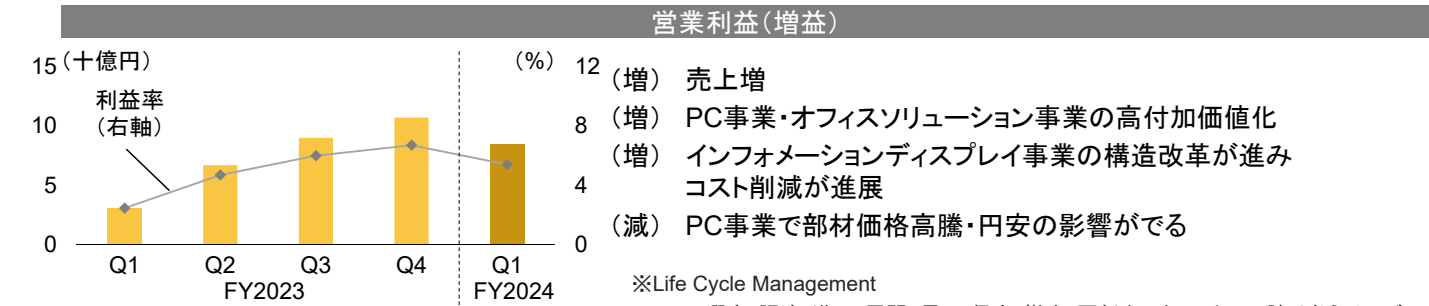
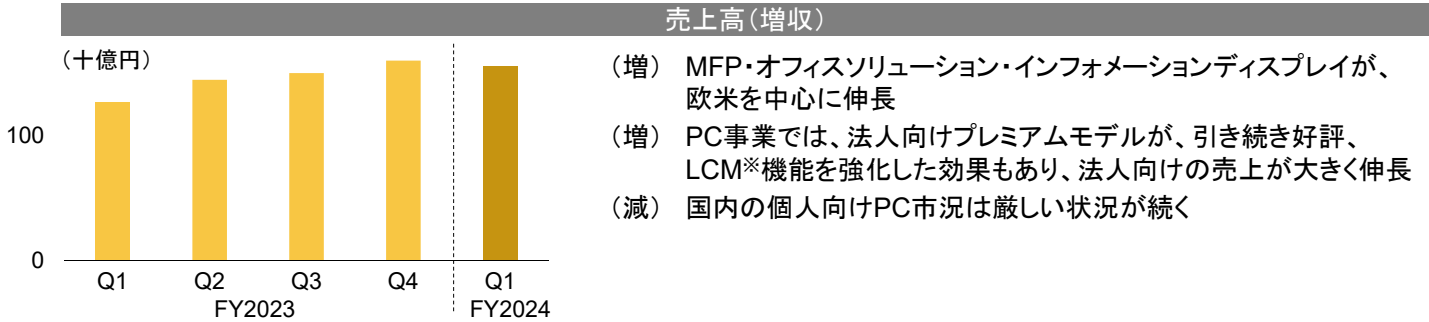
海外では、エアコンに加え、冷蔵庫や洗濯機も好調だったASEANが大きく伸長しました。また、高付加価値モデルを中心に調理家電が伸長した欧米も増収となりました。

一方、エネルギーソリューション事業では、EPCが大幅な減収となりました。

・ 営業利益は、27.2%減の 50億円となりました。

円安の影響が大きく減益となりましたが、高付加価値化の進展や、コストダウン・経費削減の効果もあり、安定して利益を計上しています。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	+22.9%
営業利益 (利益率)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	+168.1%



・ 次は、スマートオフィスです。

・ 売上高は、ビジネスソリューション事業・PC事業とも増収となり、前年同期比 22.9%増の 1,556億円となりました。

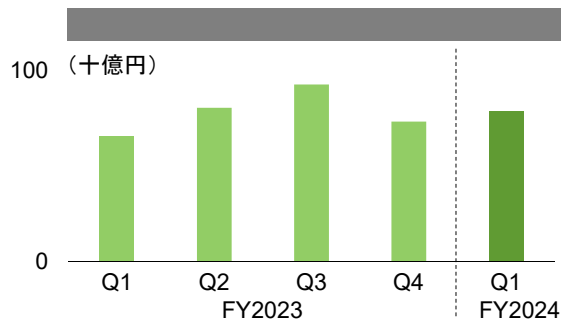
ビジネスソリューション事業では、これまで好調だったMFPやオフィスソリューションに加え、インフォメーションディスプレイも、欧米を中心に伸長しました。

PC事業では、法人向けプレミアムモデルが好評で、マネジメントサービスも徐々に拡大していることから、国内で法人向けや官公庁向けのシェアを拡大することができました。

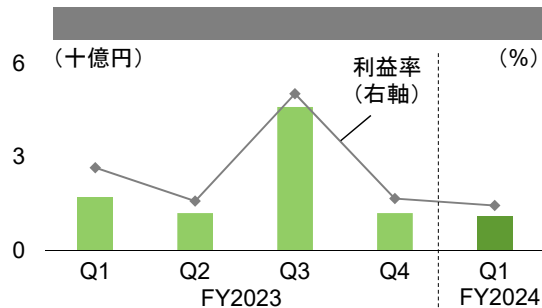
・ 営業利益は、168.1%増の 84億円となりました。

PC事業が部材価格の高騰や円安の影響を受けましたが、各事業の売上高が伸長していることに加え、オフィスソリューション事業の高付加価値化が進んでいること、構造改革に取り組んでいるインフォメーションディスプレイ事業のコスト削減が進展していることなどから、大幅な増益となりました。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	+19.5%
営業利益 (利益率)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	-35.1%



(増) 国内のテレビ事業は、市場が低調に推移するなか、高付加価値モデルが好調で、売上が伸長  
欧米のテレビ事業も前年同期を上回る  
(増) 通信事業では、スマホの販売台数・金額がともに伸長



(減) 円安の進展  
(増) テレビ事業の高付加価値化  
(増) 販売増  
(増) 構造改革などによる、コストダウン・経費削減の進展



・ 次は、ユニバーサルネットワークになります。

・ 売上高は、テレビ事業・通信事業とも増収となり、前年同期比 19.5%増の 785億円となりました。

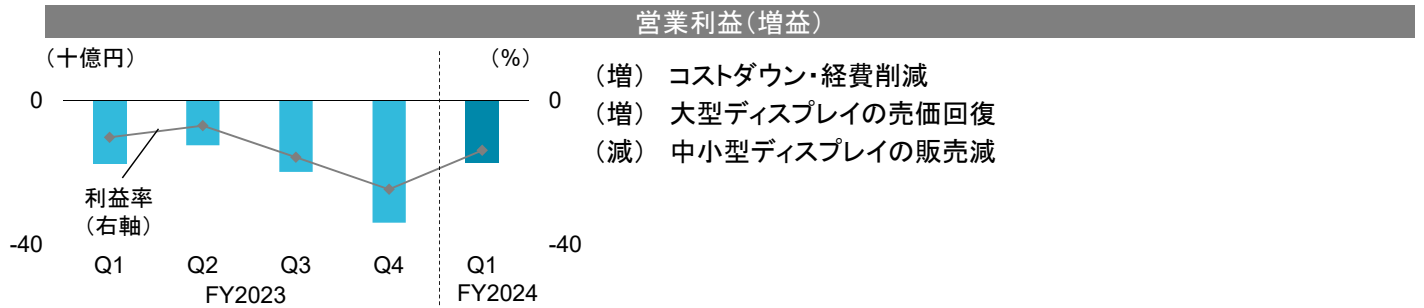
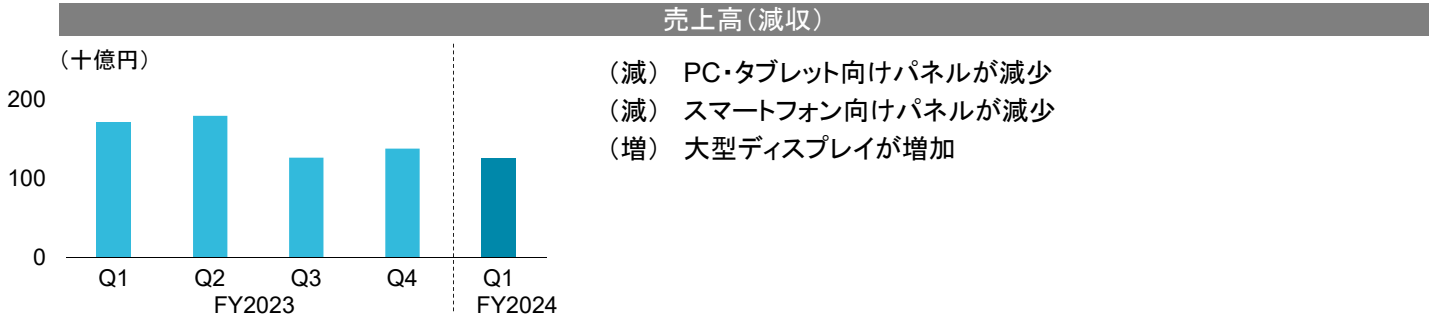
テレビ事業では、高付加価値モデルが好評だった国内のほか、欧米などでも売上が伸長しています。

また、通信事業では、スマートフォンの販売台数・金額がともに伸長しました。

・ 営業利益は、円安によるマイナス影響が大きく、前年同期比35.1%減の11億円となりました。

高付加価値化が進展していること、増収となったことに加え、構造改革など、コストダウン・経費削減に向けた取り組みの効果もあり、大きく円安が進む中でも、利益を確保することができています。

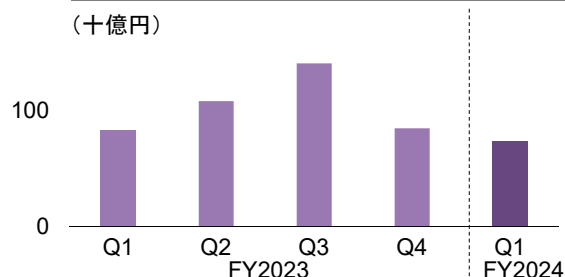
(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	-26.9%
営業利益 (利益率)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-



- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 26.9%減の 1,252億円となりました。  
 大型ディスプレイは増収となりましたが、PC・タブレット向けやスマートフォン向けなど中小型ディスプレイが減収となりました。
- ・ 営業利益については、前年同期の173億円の赤字に対して、2億円改善し、171億円の赤字となりました。  
 減収となった中小型ディスプレイの利益が悪化した一方、大型ディスプレイの赤字は縮小しました。

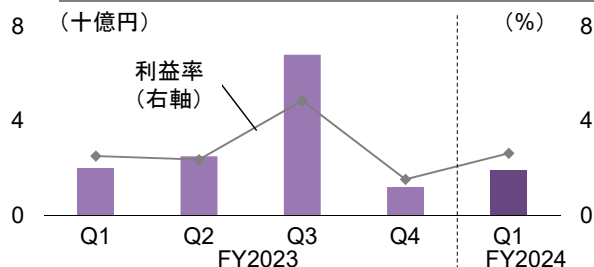
(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y
売上高	83.2	108.1	140.8	84.7	73.3	-11.9%
営業利益 (利益率)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	7.6 (5.4%)	1.2 (1.5%)	1.9 (2.6%)	-7.9%

売上高(減収)



(減) センサーモジュールの顧客需要が変動  
(増) 車載用に新規採用されるなど半導体レーザーが好調

営業利益(減益)



(減) センサーモジュール販売減の影響  
(増) 半導体レーザー販売増の影響  
(増) 経費削減



- ・ 次は、エレクトロニックデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 11.9%減の 733億円となりました。  
車載用に新規採用されるなど半導体レーザーは好調でしたが、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響がありました。
- ・ 営業利益は、売上高が減少したことなどから、前年同期比 7.9%減の19億円となりました。

# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Y on Y 増減額
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8	+1.2
営業外損益	+6.5	+2.3	+1.2	+3.0	-4.3	-10.8
内:支払利息	-2.9	-2.6	-2.5	-2.6	-2.6	+0.3
為替差損益	+6.2	+2.9	+0.4	+3.7	-7.4	-13.6
投資関連収益・費用	+0.2	+0.3	+0.3	+0.1	+0.2	-
持分法による投資損益	+1.3	+2.4	+2.9	+1.5	+2.3	+1.0
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1	-9.6
特別損益	+9.3	-0.9	-3.4	-135.4	+11.7	+2.4
内:投資有価証券売却益	-	+0.1	-	-	+10.1	+10.1
固定資産売却益	+0.5	+2.0	+0.6	+0.3	+0.0	-0.5
段階取得に係る差益	+1.3	-	-	-	-	-1.3
持分変動利益	+4.2	-	-	-	+2.7	-1.5
債務取崩益	+4.8	-	-	-	+3.5	-1.3
事業構造改革費用	-	-0.6	-0.2	-10.8	-3.4	-3.4
減損損失	-1.4	-1.8	-1.0	-117.9	-1.2	+0.2
事業売却損	-	-	-2.3	-	-	-
受注生産中止に伴う損失	-	-	-	-4.7	-	-
税前利益	8.8	2.6	0.0	-149.1	1.6	-7.2
法人税等 他	-3.2	-3.2	-3.0	-2.8	-2.8	+0.4
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2	-6.7

**SHARP**

13

- ・ 次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 前年度の第1四半期と比較しますと、営業利益が改善した一方、経常利益・最終利益が低下しています。  
営業外損益の「為替差損益」や特別損益の「投資有価証券売却益」「事業構造改革費用」などで前年同期と大きな差異が出ております。

# 連結貸借対照表推移

・現預金は 2,381億円、純資産は 1,818億円、自己資本比率は 10.1%となる

(単位:十億円)

	FY2023		FY2024		FY2023		FY2024
	12月末	3月末	6月末		12月末	3月末	6月末
現預金	211.9	227.1	238.1	買掛金等	398.4	355.2	362.5
売掛金等	434.6	407.5	419.7	短期借入金	171.2	115.9	139.2
棚卸資産	302.3	269.5	295.2	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	84.3	85.9	89.8	その他	339.0	385.1	387.9
<b>流動資産計</b>	<b>1,033.2</b>	<b>990.2</b>	<b>1,043.0</b>	<b>流動負債計</b>	<b>908.7</b>	<b>856.3</b>	<b>889.6</b>
有形固定資産	390.9	280.1	280.5	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	35.0	31.0	30.4	長期借入金	446.4	457.6	458.1
投資その他資産	288.6	288.5	291.4	その他	124.6	118.6	115.8
<b>固定資産計</b>	<b>714.7</b>	<b>599.8</b>	<b>602.4</b>	<b>固定負債計</b>	<b>571.0</b>	<b>576.2</b>	<b>574.0</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,747.9</b>	<b>1,590.0</b>	<b>1,645.5</b>	<b>純資産</b>	<b>268.1</b>	<b>157.4</b>	<b>181.8</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>1,747.9</b>	<b>1,590.0</b>	<b>1,645.5</b>
期末日レート							
ドル円	141.82	151.40	161.14	自己資本比率	14.5%	9.0%	10.1%
ユーロ円	157.09	163.28	172.44	自己資本	253.8	142.4	165.8

**SHARP**

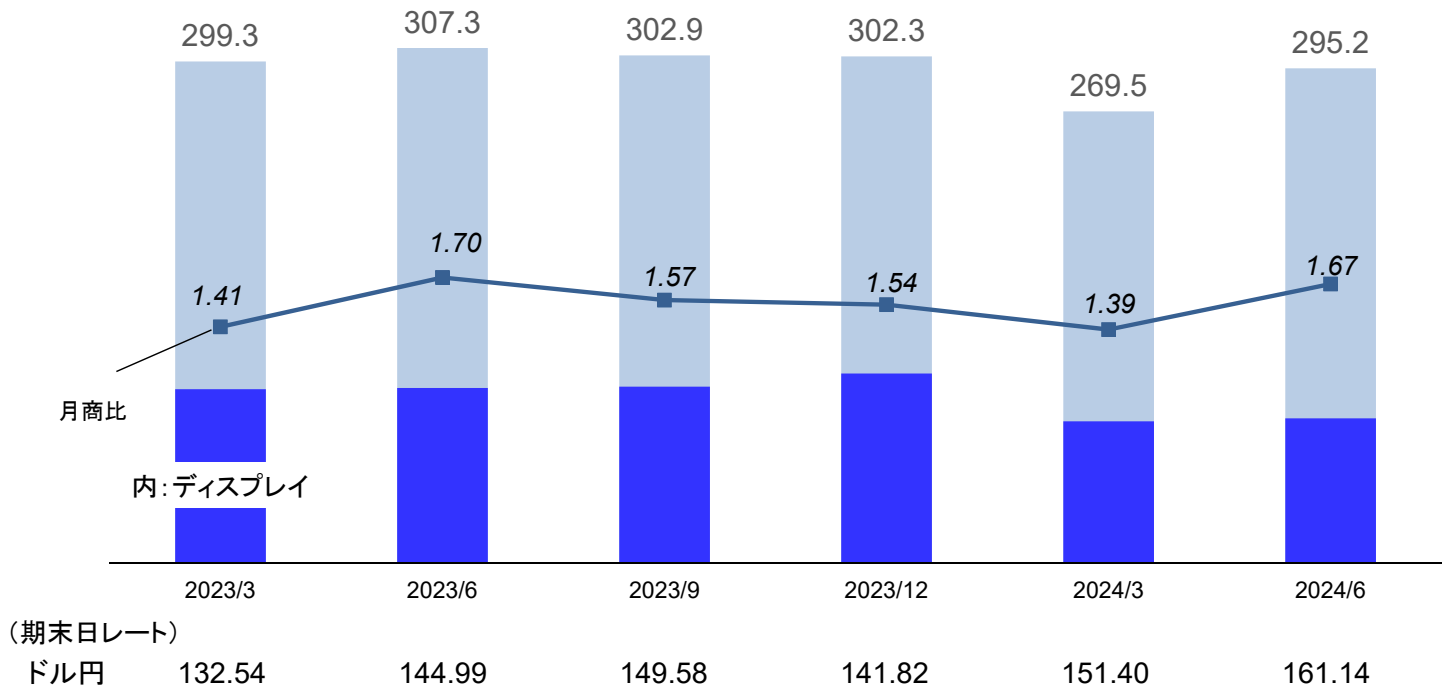
14

- ・次は、貸借対照表の推移です。
- ・「現預金」は、2024年3月末の 2,271億円に対し、2,381億円に、  
「純資産」は 1,574億円に対し、1,818億円に、  
「自己資本比率」は、9.0%に対し、10.1%になりました。

# 棚卸資産の推移

・為替影響や季節要因などがあり、棚卸資産は、3月末の2,695億円に対し、2,952億円となる

(単位:十億円、ヶ月)



SHARP

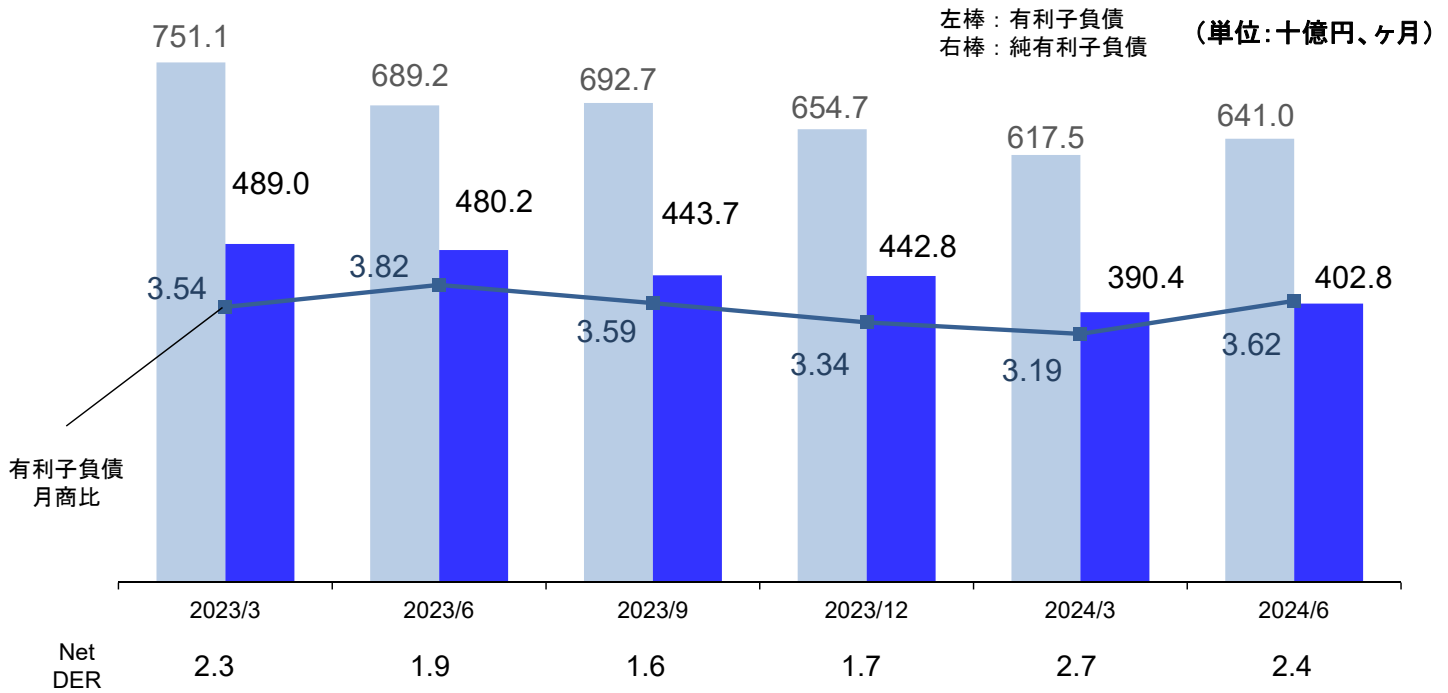
15

- ・次は、棚卸資産の推移になります。
- ・棚卸資産は、3月末の2,695億円に対し、2,952億円となっております。  
為替影響や季節要因などがあつたため、3月末から増加していますが、前年同期末と比較すると金額・月商比とも減少しており、今後の販売計画に沿つた適正水準となっております。
- ・引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。



# 有利子負債の推移

・純有利子負債は、3月末の3,904億円に対し、4,028億円に



**SHARP**

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

16

- ・次は、有利子負債の推移です。
- ・純有利子負債は、3月末の3,904億円に対し、4,028億円となっております。

## Ⅱ. 2024年度 連結業績予想

- ・ 次は、2024年度の連結業績予想です。

# 2024年度 連結業績予想

(単位:十億円)

	FY2023	FY2024	
	通期	通期予想	Y on Y
売上高	2,321.9	2,100.0	-9.6%
営業利益 (利益率)	-20.3 (-0.9%)	10.0 (0.5%)	-
経常利益 (利益率)	-7.0 (-0.3%)	10.0 (0.5%)	-
最終利益 (利益率)	-149.9 (-6.5%)	5.0 (0.2%)	-
平均為替レート			
ドル円	144.62	150.00	
ユーロ円	156.79	160.00	

**SHARP**

18

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ ここまで、業績が、ほぼ想定通りに推移しておりますので、通期の業績予想は据え置いております。

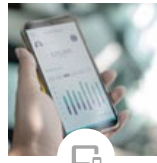
# 中期経営方針の進捗状況 ①アセットライト化

## ディスプレイデバイス

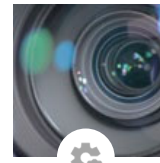
## エレクトロニックデバイス



大型ディスプレイ事業(SDP)



中小型ディスプレイ事業



カメラモジュール事業



半導体事業

方針

本年度上期中に生産停止し、  
事業転換

他社との協業/工場の最適化

さらなる成長を目指し、  
他社への譲渡を推進

進捗状況

✓ 7月28日最終投入。  
8月末にパネル生産停止予定

✓ AIデータセンターへの転用に向け、  
複数社と協議中

✓ 亀山第二工場/三重第三工場の  
生産能力調整 及び 堺工場OLED  
ラインの閉鎖を完了

✓ 三重第一工場の「半導体後工程  
生産ラインへの転用」について、  
アオイ電子社と基本合意

✓ 2024年度中の譲渡完了を目指し  
て、鴻海と具体的協議中

- ・ 次に、中期経営方針の進捗状況について、ご説明します。
- ・ まず、アセットライト化です。
- ・ ディ스플레이デバイスでは、すでに公表しております通り、工場の最適化や他社との協業の検討が着実に進展しています。
- ・ また、エレクトロニックデバイスでは、現在、2024年度中の譲渡完了を目指して、鴻海と具体的協議を進めています。
- ・ アセットライト化は、今年度の最重要経営課題の一つであり、引き続き、全力をあげて、取り組んでまいります。

## ②ブランド事業の強化

エジプト エルアラビ社と、  
冷蔵庫の新工場建設に関する合併会社設立契約を締結



- ✓ 大型冷蔵庫(容量600L以上)の生産が可能な新工場の建設について両社で合意
- ✓ 2027年にエジプト市場において約50万台の販売を目指す
- ✓ アフリカや中近東市場での事業拡大に向けた輸出拠点

台湾 ENNOCONN社と、  
スマートリテール分野を中心とした協業に関する覚書を締結



- ✓ 第一弾として、POSシステムやスマートタグ、デジタル広告などを組み合わせたサービスの共同開発を推進
- ✓ 中長期的には、店舗や商業ビル向けのエネルギー管理など、リテール分野以外にも範囲を拡大
- ✓ 台湾を皮切りに、日本および東南アジア地域においても展開

**SHARP**

20

- ・ 次は、ブランド事業の強化です。
- ・ すでに発表しておりますように、エジプトのエルアラビ社と、エジプト国内の旺盛な需要を取り込むとともに、アフリカや中近東への輸出事業を拡大していくことを目指して、冷蔵庫の新工場を共同で建設することについて合意するなど、グローバルでの事業拡大に向けた他社との協業を加速しています。

## ③Next Innovation



- 開催期間 : 2024年 9月17日(火)13:30~19:00、9月18日(水)10:00~17:00
- 開催場所 : 東京国際フォーラム
- 概要 : AI・EV・Green Energy・Industry・Communicationの分野で、「Next Innovation」として当社が生み出すソリューションを紹介するとともに、革新技术を展示

**SHARP**

21

- ・ 最後は、Next Innovationです。
- ・ 当社では、将来の飛躍に向け、AI、EV、Green Energy、Industry、Communicationの分野を中心に、Next Innovationの探索を進めています。
- ・ 9月17日18日の二日間、東京国際フォーラムで開催するTECH-DAY '24 Innovation Showcaseでは、こうした取り組みの一端をご紹介しますので、是非、ご期待ください。
- ・ 今後も、中期経営方針を着実に実行し、業績の改善、さらには、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

## Ⅲ. 補足資料

# 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	通期
売上高	1,158.2	1,163.6	2,321.9	2,100.0
営業利益	-5.8	-14.4	-20.3	10.0
(利益率)	(-0.5%)	(-1.2%)	(-0.9%)	(0.5%)
経常利益	3.0	-10.1	-7.0	10.0
(利益率)	(0.3%)	(-0.9%)	(-0.3%)	(0.5%)
最終利益	4.9	-154.9	-149.9	5.0
(利益率)	(0.4%)	(-13.3%)	(-6.5%)	(0.2%)

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8
(利益率)	(-1.3%)	(0.2%)	(0.4%)	(-3.0%)	(-1.1%)
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1
(利益率)	(-0.1%)	(0.6%)	(0.6%)	(-2.5%)	(-1.9%)
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2
(利益率)	(1.0%)	(-0.1%)	(-0.5%)	(-27.3%)	(-0.2%)



# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023		
	上期	下期	通期
スマートライフ&エナジー	223.3	217.9	441.3
スマートオフィス	271.4	310.5	582.0
ユニバーサルネットワーク	146.1	165.7	311.8
ブランド事業	640.9	694.2	1,335.2
ディスプレイデバイス	350.7	264.2	614.9
エレクトロニックデバイス	191.4	225.5	416.9
デバイス事業	542.1	489.7	1,031.9
小計	1,183.0	1,184.0	2,367.1
調整額	-24.7	-20.4	-45.2
合計	1,158.2	1,163.6	2,321.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023		
	上期	下期	通期
スマートライフ&エナジー	14.2 (6.4%)	13.0 (6.0%)	27.3 (6.2%)
スマートオフィス	9.9 (3.7%)	19.7 (6.4%)	29.6 (5.1%)
ユニバーサルネットワーク	3.0 (2.1%)	5.8 (3.5%)	8.8 (2.8%)
ブランド事業	27.2 (4.2%)	38.6 (5.6%)	65.9 (4.9%)
ディスプレイデバイス	-29.6 (-8.5%)	-53.6 (-20.3%)	-83.2 (-13.5%)
エレクトロニックデバイス	4.6 (2.4%)	8.9 (4.0%)	13.5 (3.3%)
デバイス事業	-25.0 (-4.6%)	-44.6 (-9.1%)	-69.7 (-6.8%)
小計	2.1 (0.2%)	-5.9 (-0.5%)	-3.7 (-0.2%)
調整額	-8.0	-8.5	-16.5
合計	-5.8 (-0.5%)	-14.4 (-1.2%)	-20.3 (-0.9%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

## 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ&エナジー	106.6	116.6	106.6	111.3	109.9
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5
ブランド事業	299.0	341.8	349.5	344.7	344.1
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2
エレクトロニックデバイス	83.2	108.1	140.8	84.7	73.3
デバイス事業	254.5	287.5	267.1	222.6	198.6
小計	553.6	629.4	616.6	567.4	542.7
調整額	-12.3	-12.4	-10.2	-10.2	-10.8
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

## 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
スマートライフ&エナジー	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	5.2 (5.0%)	7.8 (7.0%)	5.0 (4.6%)
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)
ブランド事業	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)	18.9 (5.4%)	19.7 (5.7%)	14.5 (4.2%)
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)
エレクトロニックデバイス	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	7.6 (5.4%)	1.2 (1.5%)	1.9 (2.6%)
デバイス事業	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)	-12.1 (-4.5%)	-32.5 (-14.6%)	-15.2 (-7.7%)
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

# 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	通期
設備投資	22.3	25.2	47.6	50.0
内:ディスプレイ	10.3	9.4	19.8	15.1
減価償却費	29.2	31.2	60.5	54.0
研究開発費	36.7	36.2	73.0	80.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	通期
米ドル	141.00	148.25	144.62	150.00
ユーロ	153.38	160.20	156.79	160.00

# 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
設備投資	8.9	13.3	13.4	11.8	6.2
内:ディスプレイ	4.0	6.3	5.8	3.6	2.5
減価償却費	14.1	15.1	15.6	15.5	11.0
研究開発費	17.6	19.1	18.0	18.2	17.2

(単位:円)

平均為替レート	FY2023				FY2023
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
米ドル	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89
ユーロ	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失) または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、

ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

**SHARP**

# SHARP

Be Original.

